

第27回渡良瀬遊水地ワシタカカウント報告

2018年2月4日(日) 天候:晴

主催:日本野鳥の会栃木
渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会

参加者数:45名

調査時間:10:00~12:30

調査定点:9カ所

《今回の調査について》

①調査方法は従来までと同様の方式。

- ・遊水地の主要ワシタカ類であるチュウヒ、ノスリ、トビに関しては、10:00から15分間隔で記録をとり、その時刻に各調査定点で観察できた羽数と状態(飛行、とまり)を調査用紙に記入。また地図に観察された位置、動き等を記入した。
- ・その他の種は、調査時間内で出現ごとに逐一、調査用紙と地図に記入した。
- ・以上の記録の際、隣接の定点とダブらないよう、トランシーバーを使って連絡調整し、集計段階でも検討した。

②調査定点は、調査開始時から計9カ所に変更した。

③参加者は集合時40名、移動時から調査時間内に45名に達したと推定される。

《調査結果》

◆主要3種 ★同一時刻確認の最大数(全定点合計)

チュウヒ 5羽(11:00)

ノスリ 14羽(11:30)

トビ 36羽(12:30)

◆その他の種 ★トータルの観察羽数

ミサゴ 6羽

ハイロチュウヒ 2羽

オオタカ 5羽

ハイタカ 2羽

ケアシノスリ 0羽

ハヤブサ 1羽

チョウゲンボウ 2羽

コチョウゲンボウ 0羽

〔上記合計9種〕

《参考》

17年の結果 16年の結果

9羽(11:45) 6羽

8羽(11:00) 9羽

18羽(11:45) 26羽

3羽 3羽

2羽 3羽

3羽 6羽

0羽 1羽

0羽 1羽

2羽 1羽

1羽 0羽

0羽 0羽

(計8種) (計9種)

*なお、主要3種の調査方法である「同一時刻最大羽数」方式で出た数は、最低限これだけは間違いなくいる、という数である。

《考察》

◆チュウヒ

一定時刻に見られた最大個体数は5羽とされた。昨年の曇天と異なり、今回は晴天で穏

やかな天候であったが、昨年より4羽少ない記録となった。その理由としては、チュウヒは一定程度以上の風があった方が飛翔しやすく観察もしやすいが、今回は、特に前半風がごく弱く、飛ばずにいた個体がいたのではないかと、という指摘があった。日中に遊水地内にとどまっているチュウヒは10羽前後と推定される（昨年のまとめでの意見）が、チュウヒが特に減少している、という見解は示されていない。

◆ノスリ

同一時刻での最大個体数は14羽で、久しぶりに二桁の数となった。その原因として、今冬は寒さが厳しく、東北地方などから南下したノスリが含まれているのではないかと、という指摘があった。昨年は冠水等による顕著な環境変化はなかったことも一因にあるかもしれない。

◆トビ

同一時刻での最大個体数は36羽で、昨年・一昨年を大きく上回った。その原因として、気象条件がトビの飛翔には良かったこと、また、現在谷中湖が干し上げ中で、餌となる動物が捕りやすいこと、などが考えられるとの意見があった。

◆その他の種

ミサゴは昨年、一昨年の倍の数が観察された。トビと同様、谷中湖干し上げによる魚の捕獲のしやすさも考えられる、との意見があった。

ハイロチュウヒは昨年と同じ2羽とされた。チュウヒ同様日中遊水地外へ出ている個体が多いと推測される。

オオタカは昨年3羽、今回は5羽で、安定した生息数を示していると思われる。

また昨年記録されなかった**ハイタカ**が、今回は2羽記録された。この点については、ノスリ同様、より寒冷な地から移動したのではないかと、という指摘があった。

ハヤブサ類では、今回**ハヤブサ**が1羽、**チョウゲンボウ**は2羽記録された。数は少ないが遊水地内での確認は継続してい。ただ**コチョウゲンボウ**は今回も記録されなかった。

《総括》

毎年晴天の場合は寒冷な北西風が非常に強く、調査に支障を来すほどであるが、今回は、晴天にもかかわらず風がごく弱く穏やかで、調査はやりやすかった。

集計結果では、そうした気象状態がプラスになったと思われる種（トビなど）と、マイナスになったと考えられる種（チュウヒ）に分かれた。

チュウヒは昨年（9羽）の半数近くしか記録されなかったが、ハイロチュウヒも含め、日中遊水地外へ出る個体が相当数いることは確かで、ねぐら調査等の結果を見なければ、全体的傾向は判断できないと思われる。それ以外のタカ類はいずれも昨年より増加していて、気象条件(当日及び今冬の傾向)や谷中湖等の状態が関係しているのではないかと、という指摘がなされた。

現在、国交省の湿地再生事業が継続され、第2調節池で新たな水辺が次々と出現しているが、それが原因と思われるような、大きな鳥類相の変化は確認されていないようであり、その点は今回の調査でも同様であった。ただ、今後程度の多少はあれ、種々の変化が現れることは確実であり、それがどのような形になるのか注目したい。

今回は、高校生や中学生も含め昨年に近い45名の参加者があり、それぞれの定点ごとに積極的に取り組んでいただいた。参加された方々には、主催者として心から感謝申し上げます。
〔文責：高松健比古〕

実施年		2017	2017	2017	2017	2017	実施年		2017	2018							
実施月		4	5	6	9	10	実施月		11	1							
実施日		16	28	11	10	8	実施日		12	14							
時間	開始	9:30	6:22	7:07	6:19	7:12	6:19	7:01	6:15	6:51	7:15	8:03	7:12	8:02			
	終了	10:30	7:02	8:00	7:12	8:02	7:00	7:45	6:48	7:45	8:01	9:03	7:54	9:00			
天候		晴	晴	晴	晴	晴	天候		晴	晴	快晴	快晴					
確認種		23	15(3)	23(2)	13(3)	23(2)	14	15(1)	17	23(1)	27	24	19	20			
目	科	種		種		種		目	科	種		種					
キジ	キジ	キジ	1	0(1)	2	1(1)	2(1)	0(1)	キジ	キジ	キジ	1					
カモ	カモ	マガン	2						2	マガン	10	14	2	3			
		マガモ	1						2	マガモ	58	23	3	7			
		カルガモ	4	1	4(1)	2	6(2)	18	21(2)	20	1	39(5)					
		ハシビロガモ								1	ハシビロガモ						
		シマアジ								5	シマアジ	1					
		コガモ						24	10	5	コガモ	7					
		オカヨシガモ						1	オカヨシガモ	2							
		オナガガモ						1	オナガガモ								
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	2		23	1	1	1	2	2(1)						
ハト	ハト	キジバト	1	1	1				1	2		1					
カツオドリ	ウ	カワウ	1		2		2	1	2		3(1)	12	66	1	2		
ペリカン	サギ	サンカノゴイ											1	1			
		ヨシゴイ			1sp	2	2										
		アオサギ	8	1	2	2	2		1		2	2	2	2	3		
		ダイサギ	4		2	2	2		4	2	2(1)	5	1				
		チュウサギ			2												
		クイナ			1							1	2				
		オオバン															
カッコウ	カッコウ	カッコウ		0(1)	0(3)	0(1)	0(2)	2	1								
チドリ	カモメ	コアジサシ		0(1)							1						
		タシギ												1			
		イソシギ	1									1					
		アオアシシギ															
タカ	ミサゴ	ミサゴ	1									1					
		タカ	2		1	0(5)	4	3	1			2	1	2	2		
		チュウヒ	2					1	1					1			
		オオタカ	1								2			1			
		ノスリ	1										2	1			
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		2	1	1	2				1						
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ										1					
		ハヤブサ															
スズメ	モズ	モズ								2	3(1)	1	2	2			
		カラス	1		2	5	1(2)	4		6	2	2	1	1	1		
		ハシボソガラス	1	2							8	1					
		ハシブトガラス									1	1					
		カラスSP									1	1					
		シジュウカラ	シジュウカラ		2			2					1	2	1		
		ヒバリ	ヒバリ	2	4	11	8	2	10	3	3	2		2			
		ツバメ	ショウドウツバメ			2	0(8)	3	30	1	1	23					
			ツバメ														
		ヒヨドリ	ヒヨドリ			0(1)										1	
		ウグイス	ウグイス	2	3	3	2	2	1	3	1						
		エナガ	エナガ													1	
		センニュウ	オオセッカ		2(1)	1		0(1)									
		ヨシキリ	オオヨシキリ		16	23	31	32	20	9							
			コヨシキリ		12	22	10	9	9	5							
		セッカ	セッカ	1	7	11	11	11	1	1							
		ヒタキ	ツグミ														
			ジョウビタキ										1	3	4	5	
セキレイ	ハクセキレイ			1						1	1	1	1	1			
	タヒバリ	1															
アトリ	アトリ	アトリ			1		3			62	41						
		カワラヒワ										3	11	12	1		
		ベニマシコ										4	8	5	3		
		シメ										1					
ホオジロ	ホオジロ	ホオジロ	3	3		2	2	4				20	17	3	4		
		カシラダカ										1					
		アオジ	2			2	1					5	1	1	4		
		オオジュリン			9	3						5	34	20	6		
総数(羽)		44	67(4)	104(5)	98(17)	116(6)	125	69(3)	115	173(6)	総数(羽)		183	221	83	73	

※4月16日:調査時刻が5月以降より遅く参考記録扱い
 ※()内はコース外の記録